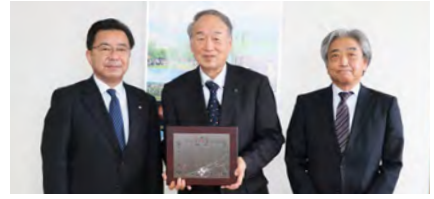


## 日本赤十字社より銀色有功章を受章しました。

2022年1月6日(木)、本学が日本赤十字社より銀色有功章を受章しました。この章は永年にわたり継続して献血運動に功労があった企業・団体に対して贈られるもので、北海道赤十字血液センターの推薦を受けたものです。

本学では毎年数回、大学構内に献血車をお呼びして献血を実施しており、学生や教職員が多数協力しています。表彰は当別町役場にて行われ、後藤町長より表彰楯を賜りました。



## 社会福祉法人きたの愛光会と業務連携協定を締結しました。

2021年12月13日(月)、本学当別キャンパスにおいて、社会福祉法人きたの愛光会(北見市)と看護福祉学部臨床福祉学科の業務連携協定を締結しました。

本協定は、社会福祉法人きたの愛光会が実施する「介護福祉士の社会的認知向上のための事業」と北海道医療大学が実施する教育・研究事業との連携を目的として締結されたものです。



## 当別町イングリッシュプロジェクトが行われました。

2021年10月23日(土)、当別町白樺コミュニティセンターにおいてイングリッシュプロジェクト(当別町教育委員会共催)が行われました。

イングリッシュプロジェクトは、小学生が基礎的な英語や英会話を楽しく学習する企画で、本学からは先端研究推進センターのパウデル ドルガ助教、歯学部特別研究員のソヨッド トウフィクル イスラムさん、歯学研究科4年生のパルチメグ アルタンヒシグさんの3名が、当別町の小学生18名を対象に、英語で話をしながら出身国の紹介などを行いました。

本プロジェクトは、昨年度実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止となり、今年度、感染対策を徹底したうえで、初めて実施されたものです。

当別町との連携事業の一つとして、今後も継続して国際交流を図っていきたくと考えています。



## 「私立大学等改革総合支援事業」の支援対象校として2年連続で文部科学省より選定されました。

本学は2022年2月18日(金)に令和3年度「私立大学等改革総合支援事業」タイプ3(地域連携型)の支援対象校として文部科学省より昨年度に続き、2年連続で選定されました。

当該事業は、Society5.0の実現に向けた特色ある教育研究の推進、地域社会への貢献、イノベーションを推進する研究の社会実装の推進など、特色・強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を文部科学省が重点的に支援するものです。

本学は、タイプ3(地域連携型)について右記の取り組みにより、選定基準を上回りました。

今後とも本学では地域社会の更なる発展に向け、自治体や産業界等との連携を深め、大学改革の推進に取り組んでいきます。

### <地元当別町などの地方自治体との連携>

- 地域課題解決を目的とした教育課程の編成、社会福祉推進事業の実施
- 生涯学習講座、出張講座の開催

### <学生の地域ボランティア活動に対する取り組み>

- 単位認定

### <当別町と当別町商工会などの地元産業界との連携>

- 災害対応リスクマネジメント体制の構築

## EDITOR'S NOTE

新型コロナウイルス感染症の流行が始まってから2年が過ぎました。保健・医療・福祉にかかわる同窓生の皆様は、社会からの期待も大きく、感染の予防と治療のために様々な調整や努力が求められ続け、厳しい状況におかれていることと思います。在学生と教職員、そのご家族も、感染者数の増減を注視しながらの自粛生活が長期化し、今なお日々の暮らしにたくさんの方の支障をきたしています。大学生として大いに学び、いろいろな人と出会って見聞を広めたくても、思うようにその機会が得られないと感じている学生は少なくないはずです。そんな折、看護福祉学部の教員が「アダプテッド・スポーツ大会」を企画し、この年末にキックオフイベントが開催されました。東京2020パラリンピック競技大会の年でもありましたから、「多様性と調和」「共生社会」をはぐむという大会基本コンセプトに触れて、私たちの認識も高まっていたと思います。感染対策のため、小規模でのイベントとなりましたが、学生チームだけでなく教員チームも参加して、シットイングバレーボールと車いすバスケットボールを体験し、ポッチャは白熱した真剣勝負になりました。参加者は口をそろえて次の開催を楽しみにするほどの大変有意義なイベントでした。今後は学部を越え、さらには当別町とも協力しながら、交流の輪が広がり、共生社会への理解と実践が深まっていく契機になればと期待しています。長らく自粛生活のなかで「できないこと」ばかりに目が行きがちですが、「できること」からチャレンジしたい。未来を創造する魅力的な取り組みの発信地として、今後とも北海道医療大学が発展し続けられますように。皆様の温かいご支援をよろしく願いいたします。(S.U記)

## ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.178

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 志茂 剛 飯嶋 雅弘  
内ヶ島 伸也 中田 雅美 西郷 達雄 福田 実奈  
長谷川 純子 児玉 壮志 田村 至 近藤 啓  
高橋 祐輔 山形 麻紗 三浦 清志 三川 清輝  
近田 卓哉

発行日 ● 2022年3月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入誌広報課

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

TEL:0133-22-2113

http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。  
E-mail:nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp



### ■北海道医療大学の教育理念

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広い深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。